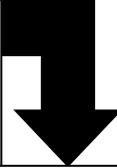


【的中問題！】一部ご紹介致します！

大原：公開模擬試験－第19問

現在G社は、全額自己資本で資金調達しており、企業価値は8,000万円と評価されている。その後、G社が利率4%の借入を行うことによって2,000万円の自己株式を買い消却し、資本構成を変化させたとき、G社の企業価値として最も適切なものはどれか。なお、法人税率は30%とし、MM理論が成り立つものとする。解答は問19へマークせよ。

- ア 8,600万円
- イ 8,800万円
- ウ 9,200万円
- エ 10,400万円



本試験：第15問（設問2）

次の文章を読んで、下記の設問に答えよ。

現在、Y社は総資本10億円(時価ベース)の全額を自己資本で調達して事業活動を行っており、総資本営業利益率は10%である。また、ここでの営業利益は税引前当期純利益に等しく、また同時に税引前キャッシュフローにも等しいものとする。Y社は今後の事業活動において、負債による調達と自己株式の買い入れによって総資本額を変えずに負債と自己資本との割合(資本構成)を1:1に変化させることを検討しており、その影響について議論している。

(設問2)

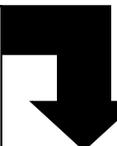
モジリアーニ・ミラー理論において法人税のみが存在する場合、Y社が資本構成を変化させることで、企業全体の価値に対する影響として、最も適切なものはどれか。ただし、法人税率は20%とする。

- ア 企業価値が1億円減少する。
- イ 企業価値が1億円増加する。
- ウ 企業価値が4億円減少する。
- エ 企業価値が4億円増加する。

大原：公開模擬試験－第23問

株式Xと株式Yのポートフォリオの期待収益率および標準偏差に関する記述として、最も適切なものはどれか。解答は問23へマークせよ。

- ア ポートフォリオの期待収益率は、相関係数がゼロのときにのみ、株式Xの期待収益率と株式Yの期待収益率の投資比率による加重平均になる。
- イ ポートフォリオの標準偏差は、相関係数に関わらず、株式Xの標準偏差と株式Yの標準偏差の投資比率による加重平均になる。
- ウ ポートフォリオの標準偏差は、2証券が完全に連動するとき、株式Xの標準偏差と株式Yの標準偏差の投資比率による加重平均より小さくなる。
- エ ポートフォリオの標準偏差は、2証券が完全に連動しない限り、株式Xの標準偏差と株式Yの標準偏差の投資比率による加重平均より小さくなる。



本試験：第18問

ポートフォリオ理論に関する記述として、最も適切なものはどれか。ただし、リスク資産の間の相関係数は1未満であり、投資比率は正とする。

- ア 2つのリスク資産からなるポートフォリオのリスク(リターン)の標準偏差は、ポートフォリオを構成する各資産のリスクを投資比率で加重平均した値である。
- イ 2つのリスク資産からなるポートフォリオのリターンは、ポートフォリオを構成する各資産のリターンを投資比率で加重平均した値である。
- ウ 2つのリスク資産からポートフォリオを作成するとき、両資産のリターン間の相関係数が大きいほど、リスク低減効果は顕著となる。
- エ 安全資産とリスク資産からなるポートフォリオのリスク(リターン)の標準偏差は、リスク資産への投資比率に反比例する。

⑧ 財務・会計

【総評】

令和5年度の本試験は、問題数は23題（昨年23題）、設問数は25問（昨年25問）であった。5肢択一の問題が1問（昨年2問）で、残りは4肢択一の問題となっている。

出題内容は、会計分野（財務会計・管理会計等）が15問（昨年15問）、財務分野（ファイナンス）が10問（昨年10問）であった。近年は、会計分野からの出題割合が高くなっており、昨年に引き続き、今年も会計分野の出題割合が高かった。しかし、出題論点を考慮すると、損益分岐点分析などの定番の論点の出題が少なく、全体的な難易度は昨年に続きやや高いレベルにあったと思われる。したがって、今年度はこの科目で60点を確保することが出来なかった受験生も多かったと思われる。

出題パターンを見ると、計算を必要とする問題は12問（昨年11問）であり、昨年に続き例年よりやや少なかった。このうち、比較的計算しやすい問題で得点を積み重ねられたかが重要となる。特に、第1問（棚卸資産の評価）、第12問・設問1（付加価値率の計算）、第14問（1株当たり配当）は正解をしてほしい問題である。

一方、計算を必要としない問題も例年並みの13問（昨年14問）であり、これらの問題については、得点しやすい問題とそうでない問題とをしっかりと区別して、得点できる問題について、いかに確実に解答できたかが重要となる。特に、第8問（貸借対照表の表示）、第9問（キャッシュ・フロー計算書）、第11問（財務諸表および財務比率への影響）、第18問（ポートフォリオ理論）は正解をしてほしい問題である。

以上